

概要 実施期間：平成30(2018)年10月9日(火)～10月15日(月)

栃木県の「自家用乗用車の世帯当たり普及台数」は全国5位(平成30(2018)年3月末現在、一般財団法人自動車検査登録情報協会調べ)。

自動車は、栃木県民の生活にとって欠かすことのできない交通手段です。

しかしその一方で、過度なマイカー利用により、特に通勤時間帯における交通渋滞やそれに伴う公共交通機関の定時走行の阻害など、諸問題が発生しているのも事実です。そこで、「はじめよう！エコ通勤」。

栃木県では、県、市町、民間等事業所が一斉にエコ通勤に取り組む統一行動週間「とちぎエコ通勤week」を実施しました。多くの事業所にご協力を頂き、延べ132,736人の参加を得た「とちぎエコ通勤week」の実施状況をお知らせします。



主催・栃木県

実施結果

Result

○参加事業所数

区分	H30	H29
参加事業所数(所)	173	169
登録人数(人)	(※1) 37,292	37,177

○エコ通勤率の変化

区分	H30		H29	
	エコ通勤week	通常日	エコ通勤week	通常日
エコ通勤率(%) (※2)	38.1	29.0	38.9	28.5

※1・2) 事後アンケート(回収率:95.9%)の集計値

参考(試算値)

Reference

・全てのエコ通勤week参加者の取組の効果をCO2抑制量で試算すると、以下のとおりです。これは、元気な杉の木約2,500本が1年間に吸収するCO2量に相当します。(※3)

CO2抑制量(7日間計)	自動車通勤による1人1日当たりの平均的なCO2排出量	普段、自動車通勤の方で、期間中にエコ通勤した延べ人数	抑制率(エコ通勤転換者が全てバス通勤に転換したと仮定)
約34トン-CO2	約5.55kg-CO2 (※4)	約9,983人 (※5)	6/10 (※6)

※3) 杉の木1本当たりの年間CO2吸収量 = 14kg-CO2/年・本(林野庁HPより)

※4) 約5.55kg-CO2(国土交通省HPより)

※5) 事後アンケート(回収率:95.9%)の集計値(延べ人数) ex.対象者が期間中、3日間エコ通勤をすれば3人。

※6) 1人を1km運ぶのに排出するCO2量 バス:自動車=4:10(交通エコロジー・モビリティ財団HPより)

はじめよう！エコ通勤

Let's Start

・職場の仲間と一緒に出来ることから取り組んでみませんか？とちぎエコ通勤weekは来年度も実施予定です。ご参加を心よりお待ちしております。

路線バス事業者等との連携 Tie-Up

○バス100円乗車証

協賛:11市町  
関東バス、JRバス  
東武バス日光、日光交通



・普段マイカー通勤の方を対象に、路線バス通勤を体験していただき易くなるように、エコ通勤week期間中に限り、1回100円の運賃で乗車できる「バス100円乗車証」を発行しました。

・H30年度は、市町で運行するコミュニティバスや民間バス路線を新たに加え、利用可能なエリアを拡大しました。

【発行実績:515枚、延べ使用回数:992回】

(H29 発行実績:459枚、延べ使用回数:930回)

○広報バス

協力:栃木県バス協会

・車体フロント面に「バスマスク」を掲出した路線バスが、広報カーとなって走りました。

【走行台数:約300台】

(H29と同数)



○路線バス利用促進キャンペーン

主催:栃木県バス協会

・エコ通勤week期間中、JR宇都宮駅を経由する路線バスの一部車内に掲出されたラッキーナンバーを見つけて応募すると、抽選で賞品が当たる～ラッキーバスに乗ろうキャンペーン～を実施しました。

【応募総数:215通】

(H29 応募総数:244通)

